

授業改善の工夫	対話活動を充実させる多様な学習形態の工夫
---------	----------------------

英語科（コミュニケーション英語Ⅱ）学習指導案		総合学科 2年
単元名	Big Dipper English Communication II, Lesson 3: "How Good Is Your Memory?"	
単元のねらい	<p>(1) 記憶力アップの仕組みについて書かれた、本文の内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を理解することができる。</p> <p>(2) 自分の意見を理由や具体例を使って、英語でやり取りをすることができる。</p> <p>(3) やり取りしたことをもとにして Q&A や反論をすることができる。</p>	
単元の流れ	<p style="text-align: right;">(全 9 時間)</p> <p>Part 1 (2時間) 本文の内容理解 (Listening/Reading), 立論作成</p> <p>Part 2 (2時間) 本文の内容理解 (Listening/Reading), ペアでの立論スピーチ練習, 相手の立論を聞きメモを取る練習</p> <p>Part 3 (2時間) 本文の内容理解 (Listening/Reading), ペア・ディベート 1 回目</p> <p>Part 4 (2時間) 本文の内容理解 (Listening/Reading), ペア・ディベート 2 回目と 3 回目</p> <p>まとめ (1時間) 本文のまとめ, 文法の復習</p>	
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容理解のためのワークシート ・ AREA (Assertion, Reason, Example, Assertion) の順で話す, スピーチのフレームワーク) を活用したメモ用紙 ・ 立論, 質問, 反論など試合の流れのメモを取るためのフローシート 	

本時のねらい (第6時)

- ・クラスメイトと協力して、積極的に活動することができる。
- ・Constructive Speech, Q&A, Attack Speechを行って、ペアで話し合いができる。

生徒に示す本時のねらい

- ・You can work together with your classmates.
- ・You can express your own ideas, showing reasons and examples.

学習過程

段階	学習内容・生徒の活動	時間 (分)	◇指導上の留意点 ◆評価規準
導入	Review (5) 復習のためPart4の音読をする。 Introduction of Pair Debate (5) ペア・ディベートのルールと流れを確認し、役割分担をする。	10	◇音読はサイトラシートを使う。 ◇説明を全員が理解できているか、発問により確認しながら進める。
展開	Pair Debate 立論準備と確認(10) 自分の準備した立論をもう一度読む。 同じ立場の人と考え・理由・例を共有する。 1. ペア・ディベート 1R (12) Aff 立論(1)→Q&A(1)→ Neg 立論(1)→Q&A(1)→ 準備(3)→Neg 反論(1)→Aff 反論(1) →Judgeからのフィードバック(3) 2. 役割を入れ替える。(3) 3. ペア・ディベート 2R (12) Aff 立論(1)→Q&A(1)→ Neg 立論(1)→Q&A(1)→ 準備(3)→Neg 反論(1)→Aff 反論(1) →Judgeからのフィードバック(3)	37	◇話合って、改善できそうなところがあれば時間内に直すよう助言する。 ◇話合った内容をメモするように声をかける。 ◆間違ふことを恐れず、クラスメイトと協力して、積極的に情報や考えなどについて話したり書いたりして、自分の意見を伝えようとしている。 ◆自分の考えを、理由や例を含めて話したり書いたりしている。 ◇スピーカーとジャッジを交代する。 ◇話合った内容をメモするように声をかける。 ◆間違ふことを恐れず、クラスメイトと協力して、積極的に情報や考えなどについて話したり書いたりして、自分の意見を伝えようとしている。 ◆自分の考えを、理由や例を含めて話したり書いたりしている。
まとめ	Wrap Up 教師による全体的なフィードバックを聞く。	3	◇フィードバックを共有することで、次回の改善点を明確にできるようにする。